

問1 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)

1. 岩宿遺跡
2. 吉野ヶ里遺跡
3. 三内丸山遺跡
4. 登呂遺跡

問2 日本の歴史において、縄文時代に定住生活が始まり、生活が安定する中で普及した、表面をみがいて形を整えた石器を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 磨製石器
2. 打製石器
3. 鉄器
4. 青銅器

問3 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。
2. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。
3. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。
4. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。

問4 縄文時代の人々が、食物の豊作や子孫の繁栄、あるいは病気や怪我の治癒などを願うための信仰として用いた、女性をかたどった土製の像を何と呼びますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)

1. 土偶
2. 石包丁
3. 埴輪
4. 銅鐸

問5 山形県舟形町で出土し、高さが約45cmあり国宝にも指定されている「縄文の女神」について述べた文として、歴史的な事実に基づいた正しい説明を選びなさい。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 古墳の周囲に並べられた埴輪の一種であり、武人や馬の形をしたものが多い。
2. 縄文時代中期に作られた土偶であり、当時の人々の信仰や祈りの対象であった。
3. 飛鳥時代に大陸から伝わった仏教の影響を受けて作られた、初期の仏像である。
4. 弥生時代の遺跡から発見された青銅器であり、大陸との交流を示す資料である。

問6 縄文時代における人々の生活環境の変化と、道具の使用に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)

1. 有力な首長が各地に出現し、集落を守るための環濠や、身分を象徴する豪華な副葬品としての土器が作られた。
2. 気候が温暖になり動植物の食料が豊富になったことで定住が進み、食料の加工や保存のために土器が作られた。
3. 氷河期の影響で大型の獣を追う移動生活が中心となり、獲物を仕留めるために磨製石器が初めて登場した。
4. 大陸から稲作が伝来したことで、収穫した穀物を大量に貯蔵するための薄くて赤褐色の土器が広く普及した。

問7 縄文時代における自然環境の変化と人々の暮らしの関係について、正しい背景を説明しているものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. 温暖化により落葉広葉樹林や照葉樹林が広がり、ドングリなどの木の実が豊富になったため、採集活動が重要な食料確保手段となった。
2. 大陸と陸続きになったことで新たな家畜が持ち込まれ、広大な牧場での放牧を主体とした生活へと移行した。
3. 激しい気候変動を乗り切るために、共同体で大規模な金属器の生産を行い、近隣の集落と食料を奪い合う戦争が日常化した。
4. 寒冷化によって大型動物が絶滅したため、人々は食料を求めて移動を繰り返す洞穴での生活を余儀なくされた。

問8 2019年に制定された「アイヌ施策推進法」では、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現を目指しています。アイヌ民族が日本の先住民族であることを認め、その独自の伝統や文化を維持・振興することで実現しようとしている、多様な背景を持つ人々が共に暮らし社会のあり方を何と呼びますか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)

1. 持続可能な社会
2. 中央集権社会
3. 多文化共生社会
4. 高度情報化社会

問9 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 登呂遺跡 — 弥生時代
2. 三内丸山遺跡 — 縄文時代
3. 三内丸山遺跡 — 弥生時代
4. 吉野ヶ里遺跡 — 弥生時代

問10 縄文時代の遺跡において、海岸や水辺に近い集落付近で見つかる、食べた後の貝殻や魚の骨、破損した土器などが堆積した場所を何といいますか。当時の人々の「ゴミ捨て場」としての性格を持ち、生活の痕跡（生活跡）を現代に伝えるものを選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

1. 環濠集落
2. 貝塚
3. 高床倉庫
4. 古墳

問11 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。 (2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 銅鐸
2. 石包丁
3. 土偶
4. 埴輪

問12 縄文時代の遺跡からは、女性をかたどったとされる土偶など、当時の精神文化を反映した遺物が多く発見されています。これらの遺物が作られた目的や背景として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 自然の恵みに感謝し、食べ物豊かなことや安産などを祈るために作られた
2. 身分の高い人物が亡くなった際、その墓である古墳に副葬品として納めるために作られた
3. 大陸との交易において、有力者が自分の富や権力を誇示するために作られた
4. 稲作が普及し、収穫した米を保存するためのまじないとして作られた

問13 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた
2. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった
3. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された
4. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった